

基本練習問題 9-2

<解答>

原 価 計 算 表

自 20X1年6月1日 至 20X1年6月30日

	製造指図書					合 計
	No. 201	No. 202	No. 202-2	No. 203	No. 203-1	
前月繰越	46,000	0	0	0	0	46,000
直接材料費	2,000	104,000	100,000	93,000	6,000	305,000
直接労務費	33,000	41,000	94,000	56,000	4,000	228,000
直接経費	0	25,000	25,000	3,000	0	53,000
製造間接費	32,000	47,000	61,000	52,000	2,000	194,000
小 計	113,000	217,000	280,000	204,000	12,000	826,000
評価額	0	△17,000	0		0	△17,000
仕損費	0	△200,000	200,000	12,000	△12,000	0
合 計	113,000	0	480,000	216,000	0	809,000
製造着手日	20X1.5.23	20X1.6.5	20X1.6.13	20X1.6.19	20X1.6.22	
完 成 日	20X1.6.11		20X1.6.27	—		
備 考	完成・引渡済	No.202-2へ	完成・未引渡	未完成	No.203へ	

【解説】

仕損の発生を伴う個別原価計算において、仕損費と評価額の処理が適切に行えるかどうかを問う問題である。No. 202 は製造を最初からやり直したため、No. 202 で発生した原価は仕損費として No. 202-2 に加算される。ただし、仕損品に評価額があるため、No. 202 で発生した製造原価 217,000 円から評価額 17,000 円を差し引いた 200,000 円が No. 202-2 に加算される。また、No. 203 は補修で対応できるため、補修指図書 No. 203-1 で発生した原価を No. 203 に加算する。